

脱炭素化を促すための中央銀行の金融政策ツール

～炭素排出削減サポートツールをめぐる動向～

王 雷軒

2023年1月29日、中国人民銀行（中国の中央銀行、以下「人民銀行」）は、現行の3つの構造的な金融政策ツールの実施期限を延長すると発表した。具体的には、①炭素排出の削減を支援するための金融政策ツールを24年末まで、②石炭のクリーンかつ効率的な利用を支援するためのツールを23年末まで、③交通・物流部門向けのツールを23年6月末まで、それぞれ延長した。

このレポートでは脱炭素化をめぐるツール①を取り上げ、同ツールの創設や特

徴を紹介したうえで、人民銀行の実施状況および、対象となる銀行の利用状況を簡潔に概観する。

炭素排出削減サポートツールの創設

周知のとおり、中国は、30年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量をピークアウトさせ、60年までにカーボンニュートラルを実現するという目標を掲げている。この目標を達成するために、金融面での取組みも積極的に行われている。

具体的には、21年7月に全国温室効果

図表1 炭素排出削減サポートツールの概要（創設当初）

対象銀行	暫定として全国性金融機関（6大銀行+3つの開発性・政策性銀行+12行の株式制商業銀行）
再貸出金の金利	1.75%
再貸出金の期限	基本は1年間、延期は2回可能、最長は3年間
実施期間	暫定として2022年末まで
再貸出規模	再貸出の上限枠は未設定。対象銀行は100%リスク負担で企業への炭素排出削減貸出を実施した後、四半期ごとに人民銀行に再貸出申請を行う。人民銀行は認定した申請銀行の炭素排出削減貸出額の60%を銀行に供給する
要件	銀行の貸出金利設定は直近のLPR（ローンプライムレート）とほぼ同じでなければならない。また、再貸出を受けた銀行は人民銀行に担保資産の提出、四半期ごとに炭素排出削減貸出の金利水準や炭素排出削減量などの情報開示をしなければならない
支援分野	支援分野は、①クリーンエネルギー：風力発電、太陽光発電、バイオマスエネルギー、揚水発電、水素エネルギー、地熱エネルギー、海洋エネルギー、ヒートポンプ、高効率蓄電、スマートグリッド等、②省エネ・環境保全：工業セクターの省エネ改造やエネルギー利用効率の向上、新電源システムのレトロフィット等、③炭素排出削減関連技術の研究開発：二酸化炭素の回収・利用・貯蔵等

（資料）中国人民銀行をもとに作成

ガスの排出権取引市場（カーボンプライシング）の取引が始まったほか、グリーンファイナンス（グリーンローンやグリーン債）の強化も行われている。その一環として、人民銀行は21年11月に「炭素排出削減サポートツール」というものを新たに創設した（図表1）。その概要は以下のとおりである。

まず、同ツールを利用できる銀行は、当初21行の主要銀行（全国性金融機関）に限られていた。22年8月には2行の外資系銀行が対象に加わり、合計23行となっている。今回の延長発表では、23行のほか、一部の地方銀行（都市商業銀行や農村商業銀行）と外資系銀行を新たに追加することが決まり、対象銀行はさらに拡大した。

中国では、一般的にトランジションファイナンスを利用する企業の借入額が比較的大きいほか、借入期間も長く、銀行の資金対応能力、高い審査能力、リスク管理能力などが要求されるため、まず大手銀行で試行したうえで、中規模の銀行に徐々に広げていくという人民銀行の慎重な姿勢が見て取れる。

また、同ツールの支援分野として、風力や太陽光発電などのクリーンエネルギー、省エネ・環境保全、炭素排出削減関連技術の研究開発の3つが挙げられている。対象銀行はこれらの分野に携わる企業に炭素排出削減貸出を実行する際に、現行のローンプライムレート（LPR）並みの金利で貸出を行わなければならない。企業にとっては優遇金利となる。

さらに、銀行貸出額の60%に対して人民銀行が1.75%の金利で再貸出（資金供給）を行う。この金利は、銀行の資金調達コストを大きく下回っているため、対象

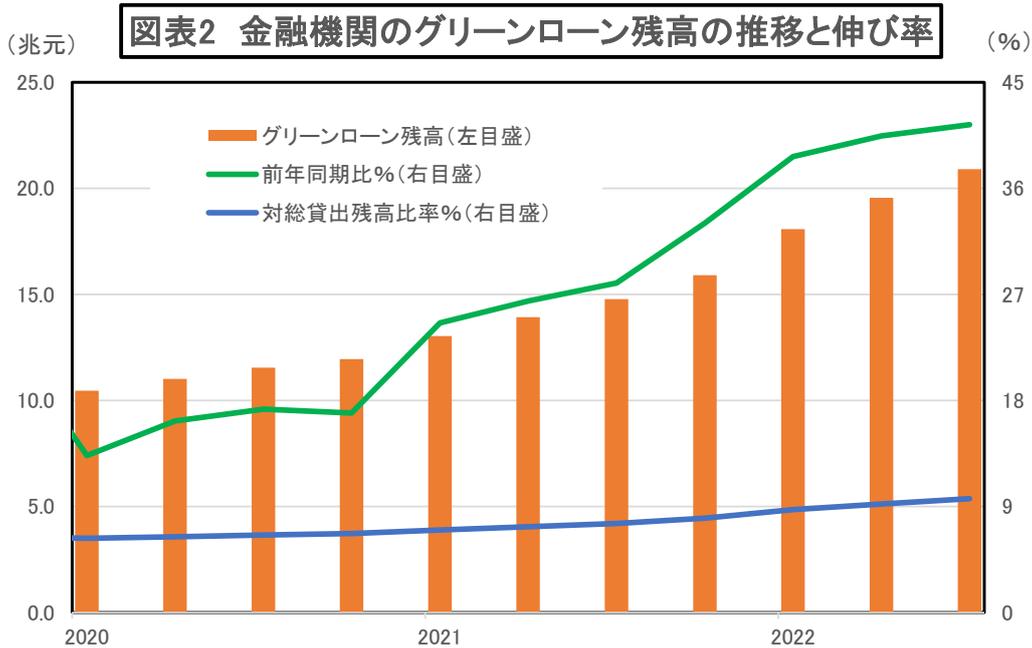
銀行の脱炭素企業向けの貸出意欲を高めることを意図している。ほかの分野の再貸出の金利を確認すると、農業支援・中小企業支援向け（1年物）が2.25%となっていることと比較して50ポイント低く設定されていることから、当局の脱炭素化への取組みを支援する度合いの大きさがうかがえる。

一方、再貸出には、「先貸後借」というルールが設けられている。銀行が先に貸出を行ってから人民銀行が貸出の中身を審査したうえで再貸付を行うという手順が決まっている。また、銀行は、四半期ごとに貸出の額や金利水準、炭素排出の削減状況といった情報を公開しなければならない。そして、人民銀行は関連省庁と連携しながら、専門的な機関に依頼するなど、銀行が公開した情報を確認・検証するとした。

ツール創設後の人民銀行の実施状況

それでは、炭素排出削減サポートツール創設後の人民銀行の実施状況を確認してみよう。人民銀行が公表した四半期別の『中国貨幣政策執行報告』（金融政策レポート）によると、同行の再貸出額は21年10～12月期に855億元、22年1～3月期に530億元、4～6月期に441億元、7～9月期に642億元、延べ2,469億元（21年10～12月期以来の累計額）となっている。

前述のように銀行貸出額の60%に対して人民銀行が再貸出を行うことになっているので、同ツール創設後は銀行の炭素排出削減貸出4,115億元を誘発した計算となる。なお、人民銀行によると、これによって炭素排出の削減量は二酸化炭素換算で8,000万トン超となる。銀行の炭素排出削減貸出がグリーンローンの構成部



(資料) 中国人民銀行、Windをもとに作成、四半期データ、直近は22年7~9月期。

分であり、こうした実施状況をみるために、金融機関全体のグリーンローンの実行状況を紹介してみよう。

金融機関全体のグリーンローンの残高は20年1~3月期の10.5兆元から22年7~9月期の20.9兆元へと大きく増加した(図表2)。前年比伸び率を確認しても、21年末からは伸び率が高まり、22年7~9月期には41.4%となった。また、同期間の総貸出残高に占める比率も6.3%から9.7%へと緩やかながら高まってきている。これらの動きから同ツールの支援効果は一定程度あったと考えられる。

一方、同ツールは上限枠が設定されていないものの、多額の実行が見られているわけではない。今後、カーボンニュートラルの実現には、巨額の資金投入が必要とみられるなか、金融機関のグリーンローンをさらに拡大させていく必要性があるため、今回の延長につながったと思われる。

銀行別のツールの利用状況

各対象銀行が開示した22年7~9月期の炭素排出削減貸出関連情報をまとめたのは図表3である。この図表から、同ツールの利用状況を銀行別に見てみよう。

まず、6大銀行(中国工商銀行、中国農業銀行、中国建設銀行、中国銀行、交通銀行、中国郵政儲蓄銀行)の炭素排出削減貸出の合計は3,513億元と全体の68.2%を占めていることで同ツールの主な利用者であることが分かる。その次は株式制商業銀行、政策金融機関(開発性・政策性銀行)となっている。

21年末時点の金融機関全体、21行、6大銀行のグリーンローン残高はそれぞれ15.9兆元、15.1兆元、8.7兆元だったことから、グリーンローンにおける6大銀行のプレゼンスが高いことは、一目瞭然である。また、銀行別の炭素排出削減貸出の加重平均利率をみると、6大銀行が3.72%とほかの銀行より低く設定されていることも同ツールを多く利用できた要因の一つである。

このツールを利用して 6 大銀行の利ざやが 1.97% (=3.72%−1.75%) が得られる計算となるが、銀行自身は貸出に 40%の自己資金を利用するほか、企業の返済できないリスクもあり、6 大銀行は積極的に利用している状況ではなかった。

また、銀行は自社の炭素測定基準などに沿って炭素排出削減量の計測や情報開示を行っているが、実行した炭素排出削減貸出案件を人民銀行に申請しても、全て認定され再貸出を受けるというわけではない。このため、前述のように、22 年 7~9 月期の人民銀行の延べ再貸出額が 2,469 億元、これによって 4,115 億元の銀行貸出を誘発した計算だが、全ての対象銀行を集計しなくても図表 3 の炭素排出

削減貸出の合計はすでに 5,154 億元にのぼった。

一方、なぜ認定されないのか、計測方法の問題、基準の甘さなどを検討するなどプロセスを通じて対象銀行自身の炭素計測能力や情報開示のレベルが徐々に高まっているとみられる。これは今後の脱炭素化を進めるうえで極めて重要な一步である。

このように、同ツールを利用した銀行の貸出は一定程度の規模となっていることが確認できた。今後、地方政府が経済の立て直しにグリーン投資のプロジェクトを数多く発表するなか、同ツールの対象金融機関の拡充もあり、その利用規模はさらに拡大すると見込む。

図表3 銀行別の炭素排出削減貸出の状況

銀行名称	プロジェクトの数(個)	炭素排出削減貸出(億元)	貸出金加重平均利率(%)	炭素排出削減量(CO2換算、万吨)
中国工商銀行	707	812	3.66	1,890
中国農業銀行	744	803	3.65	1,812
中国建設銀行	650	734	3.66	1,590
中国銀行	498	688	3.66	1,695
交通銀行	300	165	3.73	325
中国郵政儲蓄銀行	302	312	3.98	587
小計	3,201	3,513	3.72	7,899
国家開発銀行	301	523	3.74	1,224
中国農業発展銀行	120	142	3.88	671
中国進出口銀行	39	80	3.88	151
小計	460	745	3.83	2,046
平安銀行	19	36	4.18	115
招商銀行	186	217	3.82	405
中信銀行	11	8	4.40	24
興業銀行	489	342	3.77	721
浦発銀行	171	278	3.91	657
渤海銀行	5	14	4.49	34
小計	881	895	4.10	1,956
徳意志銀行(中国)	1	1	3.53	4
合計	4,543	5,154	3.87	11,905

(資料) 各銀行の公開情報をもとに作成、数値は開始時から22年9月末までの累計。